

NTT is...

2013
autumn

秋

この絵はNTTの海外拠点がある国をイメージしています。どこの国かは14ページをご覧ください。





代表取締役副社長
わたなべ ひろき
渡邊 大樹

NTTグループは、2012年11月8日公表の中期経営戦略「新たなステージを目指して」のなかで「グローバル・クラウドサービス」を事業の基軸とすることを掲げました。

今回は、NTTグループの事業戦略を担う渡邊副社長に「グローバル・クラウドサービス」の取り組み状況について聞きました。

Q NTTグループのグローバル展開の状況についてお聞かせください。

A NTTグループは、既に海外で1万社を超える顧客基盤を有し、海外72ヶ国で5万人以上の従業員が就業しております。グループ会社のNTTコミュニケーションズ、Dimension Data、NTTデータなどを通じて、様々なクラウドサービスやソリューションをお客様に提供しており、2013年3月期の海外売上高は120億

USD、邦貨換算で約1兆円まで拡大しました。NTTグループは「グローバル・クラウドサービス」を事業の基軸として、グループ全体の成長と変革を実現しようとしています。現在、世界で最も先進的な市場は北米であることから、北米でクラウドサービスの開発を進め、それらを世界に展開することで、グローバルビジネスを加速させていきます。

Q 具体的な取り組みについてお聞かせください。

A 2013年4月、北米において、世界トップクラスのセキュリティ・クラウド技術をスピーディに開発しマーケットへ投入することを目的に、研究開発拠点「NTT Innovation Institute, Inc.」[呼称：NTT I³ (NTTアイキューブ)]を設立しました。「セキュリティ」、「クラウド」に関する研究開発を通じて北米発のサービス開発を推進することで、NTTグループの成長ドライバーである「グローバル・クラウドサービス」の展開を強化していきます。北米で磨かれた成功事例は、日本や新興国などグローバルに展開していきます。

■北米R&D拠点の創設



グローバル展開の加速

また、2013年6月には、米国に本拠地を置き、マネージド・セキュリティ・サービス*を提供するSolutionary, Inc. (以下、Solutionary社)と、同社の全株式を買収することで合意しました。Solutionary社は、お客様のICTインフラやアプリケーション、ネットワーク、クラウド、モバイル通信環境を、セキュリティの脅威から保護するサービスを提供しており、既に、600社以上のお客様にご利用いただいています。NTTグループおよびSolutionary社は、本買収によりマネージド・セキュリティ・サービス市場における競争力を強化していきます。

* お客様拠点に導入したセキュリティ機器の運用代行や、お客様では対応・判断が困難な事象の対応サポートなどを行うサービス。

Q クラウドサービスを支えるデータセンターの展開状況についてお聞かせください。

A NTTグループは国内1位、世界2位*のサーバールーム面積を誇るデータセンターを保有しています。2014年3月期に入ってからデータセンターの事業を拡大しており、国内においては、都内最大規模の「東京第6データセンター」、

海外においては、大型データセンター「香港ファイナンシャル データセンター」でサービス提供を開始しました。また、マレーシア、インドにおいて新たなデータセンターの建設を開始しました。

*Telegeography社の“Largest Operators by Gross Floor Space” (2012年10月) を基に調査。

東京第6データセンターについては、P12でも紹介しています。



香港 ファイナンシャル データセンター(外観図)
(2013年5月提供開始)

■データセンター事業の拡大



東京第6データセンター(外観図)
(2013年4月提供開始)



マレーシア サイバージャ4 データセンター(外観予定図)
(2014年5月提供開始予定)



インド バンガロール 2 データセンター(外観予定図)
(2013年12月提供開始予定)

■NTTグループのデータセンター規模(2013年3月末)

	サーバールーム面積*1	拠点数*2
全体	38万㎡(+2.5万㎡)	243拠点(+20拠点)
国内	31万㎡(+0.7万㎡)	185拠点(+9拠点)
海外	7万㎡(+1.8万㎡)	58拠点(+11拠点)

()内は2012年4月比

*1 NTTグループ内でのフロア賃貸による重複分は除く。

*2 各社の拠点数の単純合計。

Q クラウドサービスの拡大に向けた取り組み事例についてもお聞かせください。

A Wi-Fi*1プラットフォームを活用したクラウドサービスの展開を強化しています。NTTグループのWi-Fiは、駅や空港、コンビニなど多くの場所にご利用いただいております。Wi-Fiアクセスポイント数は、2013年6月末で16万ヶ所を超えました。Wi-Fiは、固定でも携帯でもない「第3のアクセス」であり、これをインターネット接続だけでなく、Wi-Fi端末をご利用のお客様に情報配信サービスを行う「プラットフォーム」として活用しています。

具体的には、クーポンや店舗などの情報配信を行い、O2O (Online to Offline) *2のマーケティングツールとして活用いただいております。さらには、企業のおお客様のバリューチェーン*3の支援として、新たなビジネスモデルを構築するお手伝いにも取り組んでいます。Wi-Fiが持つ、端末やオペレーションシステムや場所にとられないという強みを活かして、今後も様々なお客様と協業しながら、ビジネスモデルの変革や地域の活性化を支援していきます。

*1 無線LAN機器が、ほかの機器と問題なく接続できる互換性を備えていることを認証するブランド名。

*2 ネット上(オンライン)からネット外の実地(オフライン)での行動へと促す施策のことや、オンラインでの情報接触行動をもってオフラインでの購買行動に影響を与えるような施策のこと、スマートフォンの普及により利用が拡大し注目を集めているサービス。



*3 市場調査⇒研究・開発⇒生産⇒流通⇒マーケティング⇒保守などで構成される、企業が価値を生み出す連鎖。

Wi-Fiプラットフォームについては、P5~8でも紹介しています。

Q 最後に、今後の事業戦略について、一言抱負をお願いします。

A 2014年3月期は、グループ各社の海外売上の成長などにより、連結営業収益は増加する見込みです。前述の取り組みにより、NTTグループは、お客様にサービスを提案する「プロバイダ」から、お客様に選ばれ続ける「バリューパートナー」へと進化を遂げることで、成長・発展を目指していきます。

NTTグループでは、クラウドサービスの拡大に向けた取り組みとして、Wi-Fiプラットフォームを活用したクラウドサービスの展開を強化しています。ここではその具体例をご紹介します。



* NTT IR室ホームページでは、過去のNTTis...をご覧いただけます。
<http://www.ntt.co.jp/ir/library/nttis/index.html>





*オペレーティングシステムのこと。コンピュータで、プログラムの実行を制御するための基本ソフトウェア。

第1四半期連結決算の概要

◎営業収益は前年同期と比べ332億円(1.3%)増加の2兆6,091億円

・移動通信事業セグメントにおけるスマートフォンの販売増などにより増加

◎営業費用は前年同期と比べ366億円(1.6%)増加の2兆2,602億円

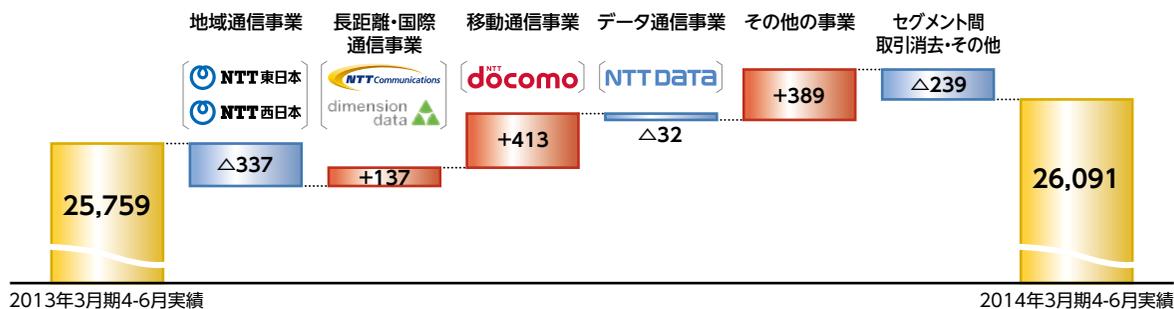
・地域通信事業セグメントにおける人員減に伴う人件費の減少などにより減少したものの、移動通信事業セグメントにおけるスマートフォンの販売増に伴う収益連動経費の増加などにより増加

◎営業利益は前年同期並みの3,489億円

前年同期比増減の内訳(セグメント別)

●営業収益(対前年:+332)

(単位:億円)



●営業費用(対前年:+366)



●営業利益(対前年:△34)



連結および主要な会社別損益状況

NTT連結とは、NTTグループ連結子会社841社、持分法適用会社103社の連結決算を表しております。

ここでは、主な5社として、NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズ、NTTデータ、NTTドコモを掲載しております。

(単位:億円)

区分	NTT連結 *1	NTT東日本 *1	NTT西日本 *1	NTT コミュニケーションズ *1	NTTデータ *1	NTTドコモ *1
営業収益	26,091	4,384	3,888	2,254	2,941	11,136
(対前年増減額)	(332)	(△110)	(△141)	(△50)	(1)	(413)
(対前年増減率)	(1.3%)	(△2.5%)	(△3.5%)	(△2.2%)	(0.1%)	(3.9%)
(通期業績予想)	(110,000)	(17,830)	(15,920)	(9,250)	(13,300)	(46,400)
(進捗率)	(23.7%)	(24.6%)	(24.4%)	(24.4%)	(22.1%)	(24.0%)
営業費用	22,602	4,101	3,773	1,929	2,890	8,661
(対前年増減額)	(366)	(△235)	(△207)	(△78)	(83)	(564)
(対前年増減率)	(1.6%)	(△5.4%)	(△5.2%)	(△3.9%)	(3.0%)	(7.0%)
(通期業績予想)	(97,700)	(17,180)	(15,720)	(8,130)	(12,400)	(38,000)
(進捗率)	(23.1%)	(23.9%)	(24.0%)	(23.7%)	(23.3%)	(22.8%)
営業利益	3,489	283	115	324	51	2,475
(対前年増減額)	(△34)	(125)	(65)	(27)	(△82)	(△152)
(対前年増減率)	(△1.0%)	(79.2%)	(131.9%)	(9.2%)	(△61.6%)	(△5.8%)
(通期業績予想)	(12,300)	(650)	(200)	(1,120)	(900)	(8,400)
(進捗率)	(28.4%)	(43.5%)	(57.7%)	(29.0%)	(5.7%)	(29.5%)
税引前利益	3,561	*2 360	*2 157	*2 399	*2 61	2,525
(対前年増減額)	(95)	(136)	(79)	(49)	(△58)	(△123)
(対前年増減率)	(2.7%)	(61.1%)	(100.9%)	(14.2%)	(△48.8%)	(△4.7%)
(通期業績予想)	(12,800)	(800)	(280)	(1,220)	(820)	(8,500)
(進捗率)	(27.8%)	(45.0%)	(56.4%)	(32.7%)	(7.5%)	(29.7%)
四半期純利益	*3 1,667	246	125	247	22	*4 1,580
(対前年増減額)	(102)	(105)	(57)	(26)	(△47)	(△63)
(対前年増減率)	(6.5%)	(75.1%)	(83.2%)	(11.8%)	(△67.9%)	(△3.8%)
(通期業績予想)	(5,850)	(500)	(230)	(750)	(450)	(5,100)
(進捗率)	(28.5%)	(49.4%)	(54.6%)	(33.0%)	(5.0%)	(31.0%)

*1 当社およびNTTドコモは米国基準(連結)、NTT東日本、NTT西日本およびNTTコミュニケーションズは国内基準(単独)、NTTデータは国内基準(連結)に準拠して作成しております。

*2 NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズおよびNTTデータの税引前利益欄には、経常利益を記載しております。

*3 NTT連結の四半期純利益は、当社に帰属する四半期純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

*4 NTTドコモの四半期純利益は、NTTドコモに帰属する四半期純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

本誌に記載されている予想数値および将来の見通しは、不確定性・不確実性を含んでおり、実際の業績などにつきましては、今後の経済や情報通信業界内外の動向、新たな技術・サービスや料金水準などにより変動することがあります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありません。

2013年6月25日(火)に「第28回定時株主総会」をグランドプリンスホテル新高輪国際館パミール(東京都港区)にて開催し、約3,100名の株主の皆様に出席いただきました。2013年3月期のNTTグループの業績や中期経営戦略などについてご説明し、株主の皆様より貴重なご質問やご意見を承った後、「剰余金配当の件」に関する議案が承認・可決され、閉会いたしました。



株主の皆様よりいただいたご質問の一部をご紹介します。

- Q. クラウドサービスの今後の取り組みについて
 - Q. 高品質なネットワークを維持するための運用保守について
 - Q. 高齢者向けスマートフォンの提供について
 - Q. 地域通信事業 (NTT東日本、NTT西日本) の今後の事業展望について
 - Q. ブロードバンド回線を利用した次世代放送サービスの展開について
- そのほかにも貴重なご質問、ご意見を頂戴いたしました。

頂戴したご意見などについては今後の参考にさせていただき、より一層のサービス改善や業務の効率化に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「株主・投資家の皆様向けホームページ」のご案内

「株主・投資家の皆様向けホームページ」では、個人投資家の皆様向けのページをご用意しております。また、第28回定時株主総会の模様を動画配信しております。

「株主・投資家の皆様向けホームページ」はこちら
<http://www.ntt.co.jp/ir/>



次世代データセンター
 「東京第6データセンター」がサービス提供を開始



近年、企業において、ICT環境の最適化や大規模自然災害への対応のため、クラウドサービスやICTアウトソーシング、ディザスタリカバリ*1などのニーズが急速に高まっています。こうしたなか、NTTコミュニケーションズは、全世界140拠点以上*2、サーバールーム総面積約18万㎡以上でデータセンターサービスを展開するとともに、新たに「Nexcenter™」*3ブランドを創設し、グローバルで統一された品質の提供とサービスレベルの更なる高度化を目指すことにしました。その第1弾となる主力データセンターとして、「東京第6データセンター」のサービス提供を開始しました。

- *1 災害などによる被害からの回復措置、あるいは被害を最小限に抑えるための予防措置。
- *2 計画中のものも含む。
- *3 先進メニュー提供、品質向上、コスト効率化などを実現するNTTコミュニケーションズの次世代グローバルデータセンターサービスのブランド。

■「東京第6データセンター」の主な特長



NTTグループ会社のなかから、エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォームをご紹介します。

エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社

エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社は、NTTグループ会社などが提供する公衆無線LANサービス（「docomo Wi-Fi」、「フレッツ・スポット」等）のアクセスポイント構築および管理に加え、自治体や他企業と協業した情報配信プラットフォームの構築および管理を行っています。今回は、具体的な取り組みの1つをご紹介します。

西武ドームにおける「スタジアムWi-Fiソリューション」

西武ドームでは、1つひとつの無線LANアクセスポイントでカバーするエリアを小さくし、設置密度を上げることで、数万人規模が集まる環境でも快適な通信容量と範囲を確保しています。また、Wi-Fiを活用し、来場した観客に対して、西武ドームでしか体験できない様々なコンテンツを提供する新たなサービス「Lions Wi-Fi」を、プロ野球公式戦開幕に合わせて提供開始しています。



会社概要	
社名	エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社
本社所在地	〒101-0047 東京都千代田区内神田3-6-2 アーバンネット神田ビル
URL	http://www.ntt-bp.net/index.php
設立日	2002年(平成14年)7月15日
資本金	1億円
代表取締役社長	小林 忠男
主な事業	無線を利用したネットワーク接続に関する業務、情報通信システムを利用した商品販売・コンテンツ提供に係る料金の回収代行業務等

NTTグループの主なニュースをご紹介します。

4 April

➔ 株式会社T-MEDIAホールディングス(旧: TSUTAYA.com)とNTT東日本との提携について～フレッツ光利用者に自宅のテレビがスマートテレビになる「TSUTAYA Stick」を提供～(NTT東日本)

●ご利用に当たってご用意いただくもの
-HDMI端子付のテレビ ・「TSUTAYA Stick」
-スマートフォン (Android2.3～、iOS5.0～)
-無線LANルータ (対応Wi-Fi規格:IEEE802.11b/g/n)

➔ ひかりTV アンドロイドOSベーストリプルチューナーの提供開始によるスマートテレビ化の推進～国内初、テレビ向けクラウドゲームにも対応～(NTTぷらら)

ひかりTVホーム画面<イメージ>

トリプルチューナー [ST-3200]

©1968, 2013 Hasbro. All rights reserved. ©TOMY

5 May

➔ 最高品質水準Tier IVに対応した延床面積7万㎡の大型データセンター「香港 ファイナンシャル データセンター」の提供開始 (NTTコミュニケーションズ)

➔ dマーケットの新サービス「dクリエイターズ」の提供開始～様々なジャンルのクリエイターを応援する総合プラットフォームを開設～(NTTドコモ)

dクリエイターズ

6 June

➔ 次世代STB「光BOX+」(ひかりボックス)の提供開始について～あらゆるお客様に、新たな体験を、パートナーとともに～(NTT西日本)

➔ クラウド活用型太陽光発電遠隔モニタリングサービス「エコめがね」HEMSパックの発売開始～エネルギー管理システム導入拡大のための経済産業省補助事業に認定～(NTTスマイルエナジー)

 表紙中央の絵の国は「インド共和国」です。
 左側の絵の国は「オーストラリア連邦」、右側は「シンガポール共和国」です。



株式インフォメーション

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定について

【証券会社の口座に当社株式が記録されている株主様】

お取引先の証券会社へお問い合わせください。

【特別口座に当社株式が記録されている株主様】

当社特別口座管理機関の三井住友信託銀行へお問い合わせください。

◎住所・氏名の表記について

住所および氏名などの文字のうち、証券保管振替機構が指定していない漢字などが含まれている場合には、その全部または一部を証券保管振替機構が指定した文字に置き換えさせていただくことができますのでご了承ください。

◎未払配当金の支払について

まだ受け取られていない配当金がある場合は、お早めに三井住友信託銀行にお問い合わせください。

株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせは

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

NTT株主様専用電話： **0120-584-400**

代表電話： **0120-782-031**

株主・投資家の皆様向けホームページ

<http://www.ntt.co.jp/ir/>

【NTT東日本・NTT西日本】

「電話サービス」に関する
お申し込み・お問い合わせは

 **116** (局番なし)

午前9時～午後5時 年中無休(ただし年末年始を除く)

「ブロードバンドサービス」に関する
お申し込み・お問い合わせは

 **0120-116-116**

NTT東日本：午前9時～午後5時 年中無休(ただし年末年始を除く)

NTT西日本：午前9時～午後9時 年中無休(ただし年末年始を除く)

【NTTコミュニケーションズ】

電話・インターネットのサービスに関する
お申し込み・お問い合わせは

 **0120-506-506**

午前10時～午後7時 年中無休(ただし年末年始を除く)

【NTTドコモ】

総合お問い合わせ先/各種ご注文受付
(ドコモ インフォメーションセンタ)

ドコモの携帯電話からの場合

 **151** (局番なし)

(一般電話などからはご利用になれません。)

一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

(午前9時～午後8時 年中無休)



この冊子は環境にやさしい植物油インキとFSC®森林認証紙を使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。